

登別市地域公共交通計画策定にむけた意見について【集計結果】

提出数 15名

(1) 課題の整理

①「妥当」か「妥当ではない」か

「妥当」であるとの意見が多かったが、「1. 将来の人口変動を見据えた対応」については、「現状の課題整理や解決が優先」、「人口変動だけをもとに経路の見直しを実施するのは粗いのではないか」との意見があった。

集計結果

項目	妥当		妥当ではない	
	数	割合	数	割合
1. 将来の人口変動を見据えた対応	13	86.67%	2	13.33%
2. 高齢者への対応	15	100%	0	0%
3. 既存の移動手段等を使いやすくする	15	100%	0	0%
4. 輸送手段の確保	15	100%	0	0%
5. 観光客に対する移動の支援	15	100%	0	0%
6. 公共交通空白地域の解消	15	100%	0	0%

※委員のからの提出数と妥当・妥当ではないの合計は一致しない。

②優先順位について

「1. 将来の人口変動を見据えた対応」については、「妥当ではない」との意見があったが「2. 高齢者への対応」とともに優先すべきとの意見が多かった。
一方、「5. 観光客に対する移動の支援」の優先順位は低いという意見が多かった。

集計結果

項目	順位						
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	計
1. 将来の人口変動を見据えた対応	4	2	1	1	2	1	11
2. 高齢者への対応	4	1	2	4	2	0	13
3. 既存の移動手段等を使いやすくする	2	3	3	3	1	1	13
4. 輸送手段の確保	2	2	3	3	1	2	13
5. 観光客に対する移動の支援	0	2	1	0	5	5	13
6. 公共交通空白地域の解消	1	3	3	2	2	2	13

※委員のからの提出数と順位合計数は一致しない。

登別市地域公共交通計画策定にむけた意見について【集計結果】

提出数 15名

(2) 課題解決に向けた取り組み案

「妥当」であるとの意見が多かったが、①公共交通維持を目的とした運行便数・経路の見直しについては、「次のステップで要検討」、「より詳細な分析が必要ではないか」との意見があった。

集計結果

項目	妥当		妥当ではない	
①公共交通維持を目的とした運行便数・経路の見直し	13	86.67%	2	13.33%
②高齢者のライフスタイルに合わせた公共交通の導入	15	100%	0	0%
③既存の移動手段を活用した支援体制の構築	15	100%	0	0%
④運転手不足に対応した輸送手段の確保	15	100%	0	0%
⑤観光客に対応した移動支援	15	100%	0	0%
⑥交通空白地域における移動支援	15	100%	0	0%

(3) 今後の公共交通のあり方

主な意見

- 利用者にも公共交通機関を利用しなければ、維持することができないことを理解してもらう取り組みが必要だと考えます。
- 並行して進んでいる立地適正化計画素案で示された将来メッシュ人口を用いて、自家用車が使えない人々が、将来的にどの程度・どのエリアで発生するか分析して頂きたい。
- 室蘭市で実施しているMaaS実証実験に関して、登別市でも実践できる可能性がないか確認していただきたい（買い物・病院通院支援等）。
- 全ての人に満足な答えは難しいので、高齢者、身障者、通学生に特化した取組にするなど、対象を絞るのも一手だと思います。
- 高校の意見を言わせて頂けば、室蘭市から登別市へ向かう、登別地区から学校へ向かう接続や時間に配慮していただけるとありがたいです。
- これからの高齢化社会に対応するべく高齢者への支援を強化することも重要ですが、働き方や生活スタイルが変わりつつある現状において、若年層への支援も重要となるのではと考えます。課題2の「高齢者への対応」は「高齢者等への対応」や「バス利用者への対応」に変更してはどうか。
- 作業には順位付けが必要なのかもしれませんが、まずは道南バスを始めとする現状の域内交通体系の利点や改善点を知ること、各項目の作業順位は自ずと決まるのではないのでしょうか。
- 項目（内容）は全て妥当。優先順位はないように感じます。（例えば、課題の優先順位ではなく、取り組み案に短・中・長として優先性を持たせることも一つ）
- (1)課題と(2)取り組みは必ずしも対ではないので、課題は無理に小分けしなくても良いと感じます。
- 公共交通の在り方については、総合計画等と整合を図りつつ、地域(地区)が将来目指すべき姿の実現を担うよう整理、検討し、取りまとめていただきたい。
- 目指すべき公共交通のあり方・方針により、追加・見直すことを検討いただきたい。

登別市地域公共交通計画策定にむけた意見について【集計結果】

提出数 15名

(3) 今後の公共交通のあり方

主な意見

- 警察としては、運転免許証返納者への支援について協働していきたい。
- 多様な交通の活用による移動の確保」は、課題3に含まれる内容ではないのでしょうか。
- ウポイへの送客は、登別市で検討する事項なのか。基本的に施設側が考えることではないのか。
- 「現状」の4つ目で、「市内で自動車と運転免許証を保有している割合が7割を超えている」とあるが、「自動車を保有している割合」が良いのではないのでしょうか。また、7割を超えているから何が必要なのか記載してはどうでしょうか。
- 本計画の公共交通にJR北海道は含まれないのでしょうか。